

(様式 1 - 1 申請書)

3 猪企第 6 9 8 号

令和 4 年 1 月 1 4 日

内閣総理大臣 殿

福島県耶麻郡猪苗代町字城南 1 0 0 番地  
福島県耶麻郡猪苗代町長 前後 公

地域魅力向上・発信事業計画の提出について

福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援（地域魅力向上・発信支援））  
実施要綱第 4 の 2 の規定に基づき、地域魅力向上・発信事業計画（令和 4 年  
度）を提出します。

(様式1-2) 情報発信等戦略 408 猪苗代町

情報発信等戦略の期間

令和4年度～令和7年度まで

情報発信等戦略

(1) 情報発信の内容

東日本大震災から10年が経過したものの、依然として根強い風評被害が残る中、ALPS処理水の処分方針決定により、新たな風評が発生し、農林水産物の価格や観光誘客の回復の遅れなどの更なる影響を懸念する声が高まっている。

このため、当町の主要産業である農業を通し、誤った風評の払拭に向けた取組の強化を図る。

(2) 猪苗代町の情報発信体制

農林課 猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業

(3) 情報発信等の戦略目標

- 猪苗代町の農産物について新たな基準を設けブランド化を行い、猪苗代町が産地として優れていることや、町産農産物の取組や魅力について情報発信を行う内容を整える。
- パンフレット等の情報発信部材を作成・準備し、首都圏をはじめとした県外の消費者に情報発信を行い、魅力ある町産農産物の購買意欲を促進する。
- 県外の事業者においても町産農産物を使用するように働きかけることで、更なる町産農産物の魅力発信につなげる。
- 魅力ある農産物を生産できる産地として町そのものの魅力向上につなげ、地域外からの新規就農者を増加させ、事業終了後も継続的に魅力を発信し続けられるように体制を整える。

(4) 全体工程表

取組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県外における情報発信												
		情報発信媒体作成・更新										
		商談・打合せ・情報発信等(随時)										
				首都圏のイベント等参加								

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
産地として発信する内容を固める。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定制度を周知し、基準を満たした農産物を認定し、価値を付加することで販売単価を上げる。</li> <li>・随時情報を収集し、情報発信を行う媒体を作成・更新する。</li> <li>・自治体が認定しているという信頼と実績を作る。</li> <li>・産地としての魅力及び優れた農産物及び加工品があることを発信する。</li> <li>・優れた農産物を扱う事業者等を増やすことで情報発信の拠点を増やす。</li> <li>・本事業に関するイベント等で猪苗代町についての意識調査を行い、事業の内容を振り返り、必要に応じて調査結果を情報発信内容に反映させ次年度以降の事業を効果的に行う。</li> </ul>			

※ 令和4年1月14日時点の計画であり、令和4年度以降の計画については、事業の進捗等に応じて変更する場合がある。

(様式 1 - 3)

408 猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画 令和4年度～令和7年度

令和4年1月14日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)			事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費（注3）					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)			備考	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					その他（注5）	
1	A	-	1	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	猪苗代町		3,189	3,189	3,189	3,189	(0) 12,756 <12,756>	R4	～	R7		
						<0>	<3,189>	<3,189>	<3,189>	<3,189>						
2		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
3		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
4		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
5		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
6		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
7		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
8		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
9		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
10		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
11		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
12		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
13		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
14		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
15		-									(0) 0 <0>		～			
						<0>	<0>	<0>	<0>	<0>						
合 計					(0) 0	(0) 3,189	(0) 3,189	(0) 3,189	(0) 3,189	(0) 12,756						
					<0>	<3,189>	<3,189>	<3,189>	<3,189>	<12,756>						

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。  
(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。  
(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、上段 ( ) 書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < > 書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。  
(注4) 「全体事業期間」は、令和3年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和3年度以降も含めて記載する。  
(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」の「その他」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する (流用される) 事業名も合わせて記載する。

(様式 1 - 4)

408 猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画 令和 4 年度

令和4年1月14日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注 1)	事業名 (注 2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考
					交付対象事業費 (b) (注 3)	うち交付金交付額 (c) =a×b	
1	A - 1	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	猪苗代町	1/2	(0)	(0)	
					3,189	1,594	
					<3,189>	<1,594>	
2	-				(0)	(0)	
					0	0	
					<0>	<0>	
3	-				(0)	(0)	
					0	0	
					<0>	<0>	
4	-				(0)	(0)	
					0	0	
					<0>	<0>	
5	-				(0)	(0)	
					0	0	
					<0>	<0>	
				合計額	(0)	(0)	
					3,189	1,594	
					<3,189>	<1,594>	

(注 1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添 1 の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注 2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注 3) 上段 ( ) 書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < > 書きについては、自動計算される。

(様式 1-5)  
猪苗代町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和4年1月14日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	猪苗代町産農産物等価値向上・発信事業	事業番号	A-1
事業実施主体	猪苗代町			総交付対象事業費	3,189千円
既配分額				当該年度交付対象事業費	3,189千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業				小計	3,189千円
①情報発信事業					
i) 風評動向調査					
ii) 体験等企画実施					3,189千円
iii) 情報発信コンテンツ作成					
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用				小計	千円
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
・パンフレット作成(2種類) 計120,000部					
・県外イベント等への参加 20回					
【アウトカム】					
・アンケート調査等によるイベント参加者の猪苗代町に対する好感度向上の割合5%					
事業概要					
事業実施主体	猪苗代町				
主な企画内容	猪苗代町の農産物について魅力を発信する県外イベントに参加				
主な事業の実施場所	-				
事業の実施期間	令和4年度～令和7年度				
企画内容					
【実施体制】					
①実地主体：猪苗代町					
②連携団体及び役割分担					
(1) 猪苗代町：会議開催場所提供、委員会事務局					
(2) 猪苗代町六次産業化地産地消推進委員会：ブランド農産物の認定等					
(3) 会津よつば農業協同組合：農産物販売、生産者とりまとめ等					
【現状・課題】					
<現状>					
・東京電力福島第一原子力発電所事故の影響等により、福島県産米の価格は未だに低迷したまま回復していない。会津産コシヒカリ等は平成22年度は全国の銘柄でも12位の販売価格(全国平均の107.4%)だったが、令和元年度は57位(全国平均の97.9%)と震災以前の回復に至っていない。					
・米価の下落等により、町の主産業である農業の衰退に拍車がかかっている。					
<課題>					
・依然として流通段階における認識の齟齬が、業者間で発生していると思料。					
・猪苗代町が有する優れた農産地等の魅力を県外に対し継続的に情報発信ができていない。					
・県内産食品の忌避に伴う購入意欲の減退、観光客数回復の鈍化等につながっていると思料。					
【現状の課題に対するこれまでの取組】					
・ブランド米やブランドそばについてパンフレットを作成する際に、内容に米の全量全袋検査やモニタリング検査を実施していることを記載し、誤った風評の払拭に努めてきた。					
・米やそばに関して海外への輸出展開やブランド化等を行い、農産物の販路拡大に努めてきた。					
【事業実施により得られる効果】					
・福島米の魅力と正しい産地情報の発信により風評の払拭を図る。					
・新たな農産物やそれらを活用した商品の認定基準・制度を整えることで産地としての魅力及び今までのブランド化に該当しなかった農産物のPRを効果的にできるようになる。					
・新たに商品の認定制度等を設けることで、優れた6次化商品や加工品の開発促進を狙える。					

【今年度事業における具体的な取組内容】

県外における情報発信

- 実施期間：R4. 4月～R5. 3月      実施体制：猪苗代町及び関係団体      概算費用：約339万円
- ・原子力災害に起因する風評の払拭を図るため、首都圏及び県外の観光地等に赴き、町産農産物等（ブランド米、そば及び新たに認定した産品等）についてPR及び試食等を介して事業者等に情報を発信する。
  - ・町産農産物について購入・導入を検討する資料としてパンフレットを作成し、情報発信の際に活用する。

県外イベント

- (1) 会津管内17市町村合同トップセールス関連事業（仮） 令和4年7月～9月頃 支出予定額：約31万円  
会津の各市町村首長等が随行者と共に一堂に会し、会津よつば農業協同組合の主導イベントに参加し、首都圏の市場関係者等と会談・商談等を行う。その他、職員等は物産展形式のイベントでPRや物品の販売等を行う。
- (2) ジャパン・インターナショナル・シーフードショー（すしwith日本食EXP0） 令和4年8月24日～26日 支出予定額：約39万円  
東京ビッグサイトで開催予定の食品見本市のうち、「すしwith日本食EXP0」に参加する。本町ブランド米を寿司好適米としてアピールしつつ、新規集約情報をはじめとした様々な情報発信を行う。
- (3) 大塚商人まつり 令和4年10月下旬 支出予定額：約36万円  
町内の商工業者や農業者と共に東京都の大塚駅前で開催されるイベントに参加し、出店や農産物販売を通してPR等を行う。また、新たな認定制度にて品質の付加価値を発信する。
- (4) FOOD EX JAPAN 2023 令和5年3月7日～10日 支出予定額：約144万円  
東京ビッグサイトにて開催されるアジア最大級の業者間での商談会場（食品・飲料総合展示会）。本町は寿司好適米等の高級米としてブランド米「いなわしろ天のつぶ」をPRし取引先の拡大を狙っている。会場では試食を行い、安全・安心・美味しさ・商品のこだわり等をパンフレットと共にPRし、認知度向上、取引先の拡大に繋げる。
- (5) その他商談等 令和4年度秋～冬で想定 支出予定額：約69万円  
既存ブランド米やそばの認定制度、実際に取引を行っている業者等の縁から新たな取引先を見つけるとともに新規集約情報についても周知し、米やそば以外の農産物についても魅力や販路を広げる。活動範囲は主に関東地方とし、移動区間は神奈川県までで想定している。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【アウトプット】

- ・パンフレット作成（2種類） 30,000部
- ・県外イベント等への参加 5回

【アウトカム】

- ・イベント参加者等からアンケート等により猪苗代町に対する印象を調査する。

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- ・福島米の魅力と正しい産地情報の発信により風評の払拭を図る。
- ・新たな農産物やそれらを活用した商品の認定基準・制度を整えることで産地としての魅力及び今までのブランド化に該当しなかった農産物のPRを効果的にできるようになる。

【次年度以降の取り組み】※複数年度にわたって事業を実施する場合

- ・認定制度の継続及び認定商品の増
- ・取引事業者の増による情報発信箇所の増

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。